

# コンチエルティノーディキョート

第32回演奏会



ANTONIO VIVALDI

1990年 **10**月**13**日(土) PM 7時

京都府立文化芸術会館

主催 / 才能教育研究会京都支部





コンチェルティーノ・ディ・キョート

指揮 新井 覚

第1ヴァイオリン 山形 孝志・畑 都加・大橋 玲子・田中かおり  
 沖 忠洋・大塚 真衣・老川 幸夫・高木 泉

第2ヴァイオリン 大藤美知代・畑 亜季・田中めぐみ・馬江 尚子  
 大塚 真帆・井上 史・江村美由紀

ヴィオラ 江村 孝哉・松村裕美子・仲佐 悦子

チェロ 森田 健二・豊田 雅朝・田村 忠司

コントラバス 串田 遼造

チェンバロ 武藤 純子

プログラム

コンチェルティーノ・アルモニコ 第1番 ト長調 ペルゴレージ

グラヴェ  
 アレグロ  
 グラヴェ, スタッカート  
 アレグロ

ラ・フォリア ジェミニアーニ  
 ヴァイオリン独奏 沖 忠洋

ディヴェルティメント 変ロ長調 K. 137 モーツァルト  
 アンダンテ  
 アレグロ・ディ・モルト  
 アレグロ・アッサイ

休憩

協奏曲集「四季」 ヴィヴァルディ  
 ヴァイオリン独奏 山形孝志

「春」  
 アレグロ  
 ラルゴ  
 ダンツァ・パストラレー

「夏」  
 アレグロ・ノン・モルト  
 アダージョ・プレスト  
 プレスト

「秋」  
 アレグロ  
 アダージョ  
 アレグロ

「冬」  
 アレグロ・ノン・モルト  
 ラルゴ  
 アレグロ



今夕はヴィヴァルディの「四季」を中心に、バロック音楽とモーツァルトの嬉遊曲を演奏します。

最初に演奏いたします曲は、ペルゴレージのコンチェルティーノ・アルモニコ第1番ト長調です。ペルゴレージはナポリ楽派の前古典派時代の代表的作曲家で、オペラ・ブッフアの成立に決定的役割を果たした作曲家で、「奥様になった女中」がよく知られています。このコンチェルティーノ・アルモニコは作曲者の死後4年たった1740年にロンドンで出版された6曲の第1番で、オクターブで始まる主題のグラヴェで始まり、リズムカルなアレグロ、美しいチェロの独奏を伴ったグラヴェと続き、ジグのリズムのアレグロで締めくくられます。

次はジュミニアーニのラ・フォリアです。ジュミニアーニはコレルリやスカラッチに学び、後にロンドンやダブリンで活躍したヴァイオリニスト・作曲家です。この曲は師であるコレルリの作品5に当たるヴァイオリンソナタ集を全曲、弦楽合奏用に編曲した協奏曲集の第12番です。フォリアというのは、スペインを起源とする古い舞曲で、17世紀以降は、フォリアの低音旋律及び和声進行の上に変奏曲をつくることがヨーロッパで盛んに行われました。

3曲目はモーツァルトの嬉遊曲、変ロ長調です。モーツァルトは1772年イタリア旅行での音楽体験をもとに3曲の管楽器を含まない嬉遊曲を作曲しました。これはその2番目に当たり、青春の爽やかさに満ちています。全体は3つの楽章から成り、まず第1楽章アンダンテでは、主和音に到達するまでの和声の遠近法に工夫がみられ、再現部での主題はかなり自由な形で出てきます。つぎに躍動的で生き生きとした主題によるソナタ形式の第2楽章、アレグロ・ディ・モルトが続き、舞曲的な性格の主題のアレグロ・アッサイの第3楽章で閉じられます。

最後はヴィヴァルディ作曲の協奏曲集「四季」です。これは作品8の12曲からなる協奏曲集「和声と創意の試み」のそれぞれ「春」「夏」「秋」「冬」と名付けられた第1番から第4番までです。名曲にはソネット（14行詩）が記されており、曲はそのソネットを忠実に音楽化する方法で書かれています。

## 「春」

春が来た  
鳥は楽しい声で春を迎え  
泉はそよ風に誘われて  
甘いせせらぎの音をたてる

黒雲と稲妻が空を走り  
雷鳴が春の到来を告げる  
嵐がやんで小鳥が再び  
さわやかに歌いだす

花に埋もれたうらかな牧場では  
木々の青葉がやさしくささやき  
犬をかたえに山羊飼が眠る

ニンフと牧童達は  
うるわしく輝く春の日ざしの中で  
笛に合わせて踊り踊る

## 「秋」

村人は踊りと歌で  
豊作を祝い  
酒は祭りを湧きたたせ  
宴の終りは安らかな眠り

祭りのあとには  
平和な静けさが流れ  
村人を  
甘い夢路にさそう

夜明けには狩人達が 手に銃と角笛を持ち  
犬を連れて狩りに出かける  
逃げゆくもの 追う狩人

あわれ おびえるけものたちは  
追われ うたれて傷つき逃げる  
追いつめられたけもの達は逃げる  
力もつきはてて ついに倒れる

## 「夏」

やけつく太陽の季節には  
人は疲れ 家畜は疲れ 松も枯れる

しかしカッコウが鳴きはじめ  
山鳩とガルデリーノの歌がきこえる

涼風はさわやかに吹くが  
北から冷たい風がおそいかり  
にわか雨を降らせて  
牧童を困らせる

恐れと不安に牧童は疲れはて  
稲妻は走り雷鳴はとどろき  
蠅が群れをはして荒れ狂う!

ああ まこと恐るべき雷鳴と落雷  
それは麦の穂を打ち折り  
穀物を打ち倒す

## 「冬」

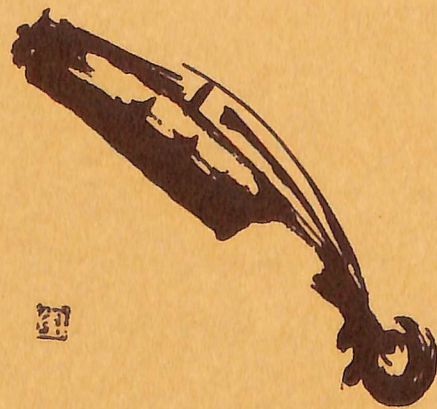
冷たい雪にガタガタふるえ  
はげしい風の吹く中を  
ひっきりなしに足ぶみしながら駆けている  
あんまり寒いので歯の根が合わずカタカタ鳴る

暖かいだんろで人々が安らかに過ごす間に  
万物は恵みの雨ですっかりうるおう  
氷の上をゆっくり歩く  
ひっくりかえらぬように気をつけて

いきおいよく歩いてみたら たちまちすべって  
ひっくりかえった  
おきあがって また氷の上をいきおいよく  
歩いてみたが  
またひっくりかえって氷がさけた

とざされたとびらを開いて外に出れば  
春風が北風を追い払うように吹いている  
これが冬だ 冬もこんな楽しみがある






Violin  
Bow  
Strings

**マツヲ弦楽社**

〒602 京都市上京区河原町通丸太町下ル東側  
マツヲビル4F ☎075-251-1774

歴史を鳴らす

*Pygmalius*  
Violin. Viola. Cello. Bass.

 文京楽器製造株式会社 〒112 東京都文京区小石川2-1-11 電話 03-811-2084代表

||||| オーディオ & ビデオ |||||

**アサヒムセン**

京都市中京区河原町三条上ル東

● 1F 家電 TEL (231)4475 ● 2F オーディオ TEL (221)2334

● 1F サービス TEL (221)4212 ● FAX (223)1940



